

令和7年4月

大阪市医学会  
会長 鶴田大輔

大阪市医学会第549回例会を下記のとおり開催致しますので、お繰り合せの上御来聴下さるようご案内申し上げます。

## 記

日 時： 令和7年5月15日（木）午後1時30分～（予定）

場 所： 大阪公立大学大学院医学研究科 学舎4F・小講義室2

当番教室： 大阪公立大学大学院医学研究科  
産業医学  
公衆衛生学

※ 開催場所が「小講義室2」に変更となっておりますので、ご注意ください。

### 【普通演題：注意事項】

- 普通講演の発表は1題15分以内  
(13分以内が発表で2分が質疑応答の時間とします)  
(講演時間終了1分前 ベル1回、終了時13分 ベル2回鳴ります)
- コンピュータは各自で用意して下さい。(スライドは不可)
- 討論は2分以内、発言者は所属と姓名を告げ、座長の許可を得て下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

### 【学位論文審査会：注意事項】

- 審査時間は1人25分です。  
(10分以内が発表で、約15分が質疑応答の時間とします)  
(発表時間開始8分後および10分後にベルが鳴ります)
- コンピュータは各自で用意して下さい。
- 審査開始時刻の20分前には発表会場の受付にお越し下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

学位論文審査会

1. 13 時 30 分～

Respiratory Muscle Strength as a Predictor of Exacerbations in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease

慢性閉塞性肺疾患の増悪予測因子としての呼吸筋力

<sup>ふるかわ</sup> <sup>ゆういちろう</sup>  
古川 雄一郎

(大学院医学研究科・呼吸器内科学\*\*)

【主査：吉川 貴仁 副査：福田 大受・川口 知哉】

2. 13 時 55 分～

Dynamic Relapse Prediction by Peripheral Blood WT1mRNA after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation for Myeloid Neoplasms

末梢血 WT1mRNA を用いた骨髄腫瘍に対する同種造血幹細胞移植後の動的再発予測

<sup>なかこ</sup> <sup>そういちろう</sup>  
仲子 聡一郎

(大学院医学研究科・血液腫瘍制御学)

【主査：内田 潤次 副査：川口 知哉・鶴田 大輔】

学位論文審査会 (5/13 開催)

1. 14 時 35 分～ 学舎 18 階 セミナー室

Prognostic Value of the Modified Cachexia Index in Colorectal Cancer Patients Undergoing Curative Surgery

大腸癌根治切除例における modified cachexia index の予後予測マーカーとしての有用性

<sup>にしやま</sup> <sup>つよし</sup>  
西山 毅

(大学院医学研究科・消化器外科学\*\*)

【主査：繪本 正憲 副査：柏木 伸一郎・前田 清】

2. 15 時 00 分～ 学舎 18 階 セミナー室

RBM17 Promotes the Chemoresistance of Oral Squamous Cancer Cells Through Checkpoint Kinase 1

RBM17 はチェックポイントキナーゼ 1 を介して口腔扁平上皮癌細胞の化学療法抵抗性を促進する

<sup>なかはら</sup> <sup>みゆか</sup>  
中原 望由花

(大学院医学研究科・歯科口腔外科学\*\*)

【主査：前田 清 副査：鶴田 大輔・八代 正和】

学位論文審査会 (5/14 開催)

1. 16 時 30 分～ 学舎 4 階 大講義室

Development of an In Vitro Electrical Impedance Model to Assess Cytotoxicity and Antifungal Efficacy of *Aspergillus fumigatus*

*Aspergillus fumigatus* の細胞毒性と抗真菌効果を評価するための *in vitro* 電気インピーダンスモデルの開発

<sup>かくの</sup> <sup>しげき</sup>  
覺野 重毅

(大学院医学研究科・臨床感染制御学\*\*)

【主査：富田 修平 副査：角南 貴司子・掛屋 弘】

2. 17 時 00 分～ 学舎 4 階 大講義室

Prospective Analysis of Factors Influencing Inter-individual Variation in Trough Plasma Voriconazole Concentrations in Older Patients -Impact of High  $\alpha$ 1-Acid Glycoprotein Levels-

ボリコナゾールの血漿中トラフ濃度の個体間変動に影響を与える因子の前向き探索 -高  $\alpha$ 1 酸性糖タンパク質の重要性-

<sup>やすい</sup> <sup>ゆかこ</sup>  
安井 友佳子

(大学院医学研究科・臨床感染制御学)

【主査：角南 貴司子 副査：富田 修平・掛屋 弘】